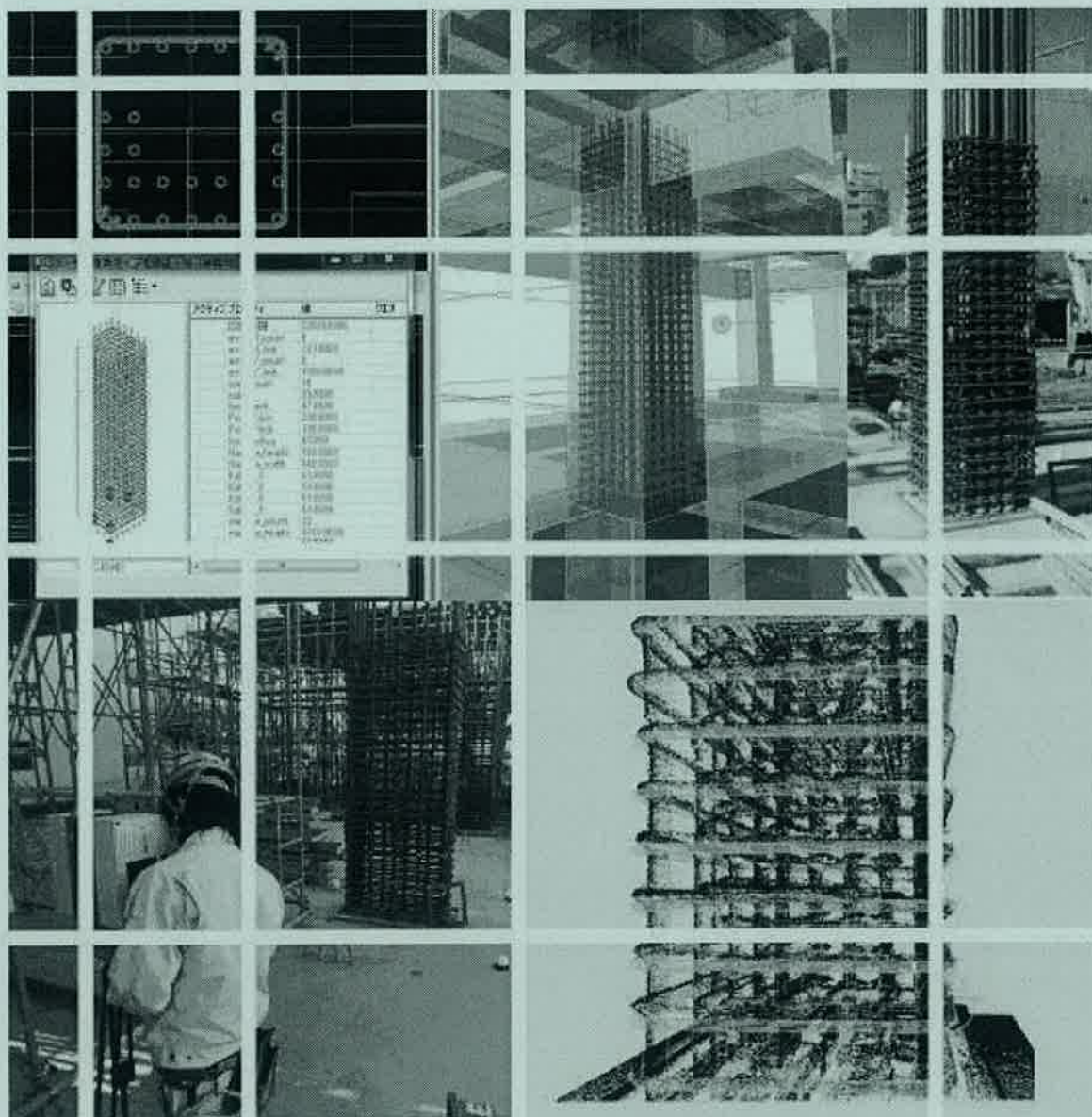


建築生産における出来形情報の取得と BIM との連携



2012年3月22日

社団法人日本建築学会 材料施工委員会

建築生産情報化小委員会

目 次

はじめに	1
	木本 健二(芝浦工業大学)
趣旨説明	3
	嘉納 成男(早稲田大学)
研究発表	
・工事写真の撮影位置・方向情報の取得と三次元 CAD による写真管理に関する研究	5
	○平沢 岳人(千葉大学)・加戸 啓太・中林 拓馬
・コード化ターゲットを用いたステレオ写真計測による室内 CAD モデルの自動生成システム	11
	○菅田 昌宏(竹中工務店)・廣瀬 駿・森山 拓哉・高地 伸夫
・既存建物・施工現場の実寸把握を想定した簡易な三次元写真計測の実用精度について	15
	○小見 康夫(東京都市大学)・海老原 享圭
・新本社プロジェクトにおける施工モニタリング	21
	○田淵 統(清水建設)・林 孝志
・三次元出来形情報の取得に関する研究・開発	27
	○佐藤 康弘(大成建設)
・建築生産における3次元スキャナーの活用領域とその技術的課題	33
	○嘉納 成男(早稲田大学)
・建築生産におけるレーザースキャナーの活用	39
	○蔡 成浩(鹿島建設)・城所 秀樹
・レーザ・レンジ・ファインダを用いた簡易型位置計測システムの開発(建物基礎杭への適用)	43
	○井上 文宏(大林組)
・トータルステーションによる三次元計測・位置決めシステムの開発	49
	○酒本 晋太郎(新菱冷熱工業)・富田 裕行
パネルディスカッション:出来形計測の BIM への活用	55
おわりに	57
	金子 智弥(大林組)